

PASSIVE INFRARED DETECTOR

CX-50AM

「アンチマスキングタイプ」

特徴

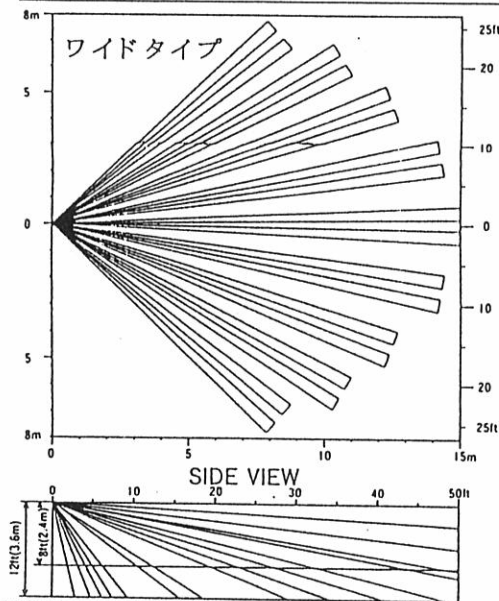
- アンチマスキングと環境チェック機能。
- 「ワイドエリアタイプ」と「ナロータイプ」の選択式。
- Pyroelectric element 搭載による2重保護機能により誤報をさけます。(特許)
- マルチフォーカス方式レンズ(特許)

- 温度保証
- 感度選択(HML)とパルスカウント選択機能により柔軟な取付が可能です。
- インシャルアラーム機能。
- LED On/Offスイッチ。●LEDリモートコントロール端子。
- C 接リレー。

I. 設置上の注意

- ①ヒーターやエアコンの風が直に当たる場所は設置しない。
- ②水蒸気などが当たる場所へは設置しない
- ③壁などの障害物の陰は検知エリアの死角になるので注意が必要。
- ④屋外には設置しない。

II. 検知エリア

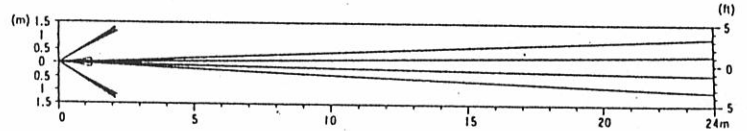


ナロータイプ

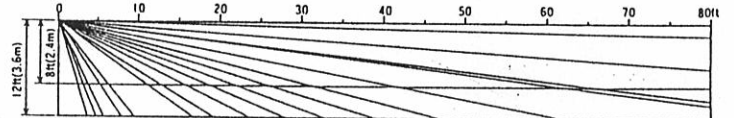
重要

設置時にナロータイプ(ロングレンジ)を選択した場合、必ずパルスカウントを"2"に設定して下さい。

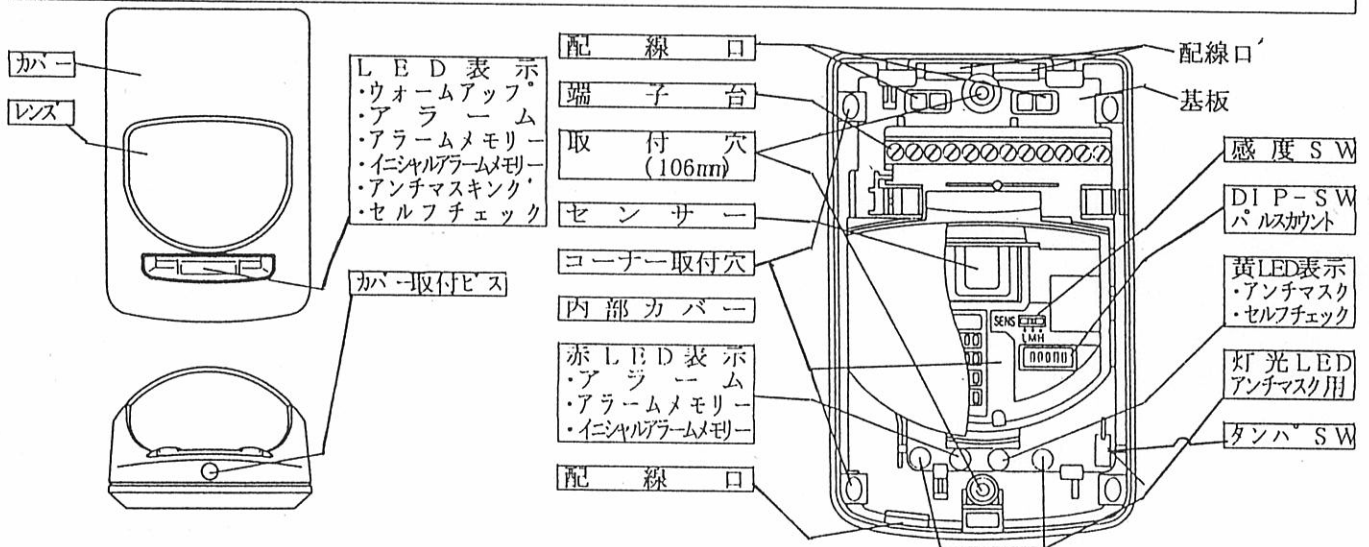
TOP VIEW



SIDE VIEW



III. 機器の説明



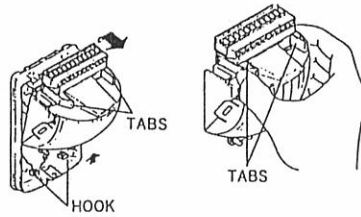
IV. 取付順序

1)



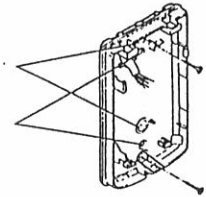
下部のビスを緩めて下より起こすようにカバーを外す

2)



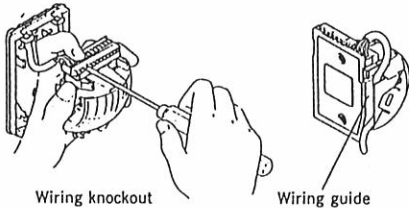
両脇より固定爪を押さえるようにして手前に引き本体を取り外す。

3)



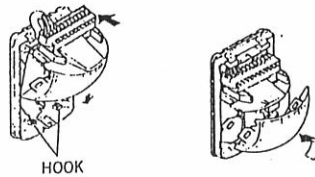
各取付穴を利用しベースを取付ます。電線は上部、又は下部の配線口のフックを抜き配線します。

4)



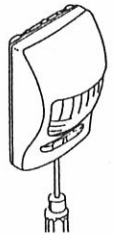
電線を端子台に結線します。下部より入線した場合は配線カバーを通し結線します。

5)



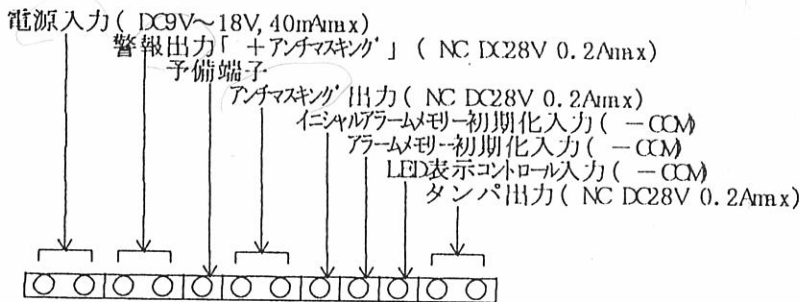
基板の下部をホルダーの爪に引っかけて上部を押し込みロックします。

6)



カバーをかけて下部ビスを止めます。

V. 結線(端子台)



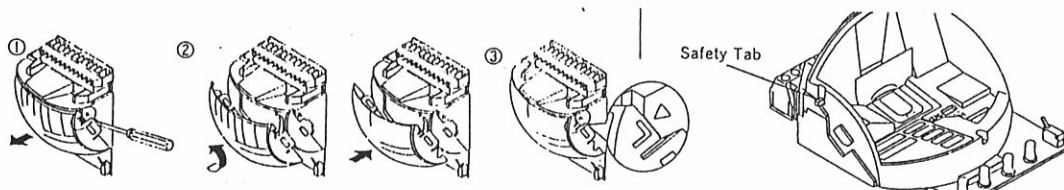
VI. 監視パターン(ワイド・ナロー)の選択

注意: デフォルトは"ワイド"です。

監視パターンを"ナロー(ロング)"に変更する場合は"Safety Tab"を折り、レンズを逆さまに取付ます。確認は正面から見て右側の"▽"印の所のレンズの記号で行えます。記号が"W"の場合ワイドタイプ、"L"の場合ナロータイプです。

重要事項
SAFETY-TAB

SAFETY-TABを折らないとレンズが装着出来ません。



VII. 感度調整

感度の設定は、H (High)、M (Medium)、L (Low) より選択。

AREA	SENS	L	M	H
ワイドタイプ		1.2 m 以下	1.5 m 以下	1.8 m 以下
ナロータイプ		1.8 m 以下	2.4 m 以下	2.7 m 以下

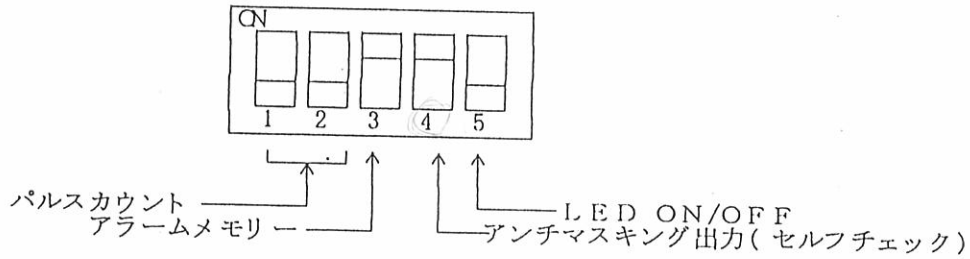
FEATURE

温度保証

温度保証回路により 大気中の気温を検出し自動的に感度を調整します。

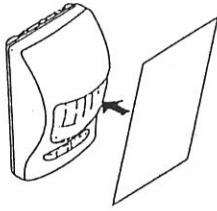
VIII. ディップスイッチの設定

ディップスイッチの設定。

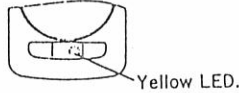


A. アンチマスキングとセルフチェック機能

- アンチマスキング
もしレンズの前を隠すように遮蔽物を置いた場合、警報出力が出力されます。



★テストと復旧
CX-50AMから約10cmの距離に紙などの遮蔽物を置きます。5～10秒後黄LEDがフラッシュします。紙をはなすと自動的に復旧します。



- セルフチェック
セカや信号発信回路の自動チェックを5時間おきに行います。(アラームメモリー接点入力時)もし正常に動作していなかった場合、以上警報を出力します。(アンチマスキングと同出力)

- LED表示/黄LED
アンチマスキング出力時 → 黄LED点滅
セルフチェック出力時 → 黄LED連続点灯

- アンチマスキング出力(T. O)
モード1か2を選択。

モード	ディップスイッチ	アンチマスキング出力
モード1		アンチマスキングとセルフチェックのみ出力する。
モード2		アンチマスキングとセルフチェックの他に警報信号も出力する。

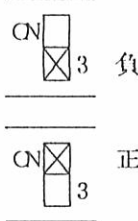
B. パルスカウント設定
パルスカウントの選択 1. 2. 3または4。

パルスカウント	ディップスイッチ	設定内容
1		歩行テスト用モード
2		最も一般的なモード
3		気温の変化が激しく環境が悪い場合のモード
4		

警告: パルスカウント3と4はナロー(ロング)モードでは使用しないで下さい。

C. イニシャルアラームメモリーとアラームメモリー
 イニシャルアラームメモリーの役割は内部メモリーと検出条件を照合し、
 合致条件の時、赤LEDを点灯させる事です。

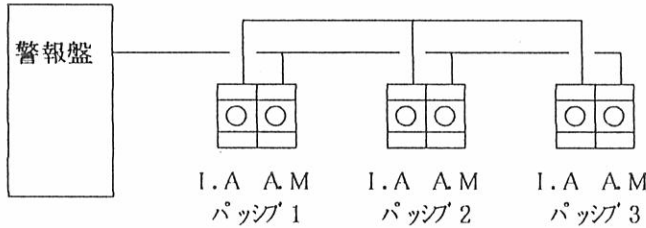
★アラームメモリーの出力設定
 正か負か出力条件を設定します。
 有電圧出力が”A.M”端子に出力
 されます。



状態	負倫理	正倫理
メモリー有り	DC0 ~1 V ('グランド')	DC+5 ~18 V
メモリー無し	DC+5 ~18 V	DC0 ~1 V ('グランド')

”グランド” = ”A.M”端子は電源の一端に繋がっています。

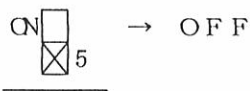
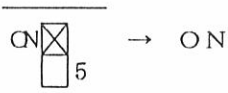
★イニシャルアラームメモリーの配線。
 ”I.A”端子は取付機器全ての同端子を接続します。
 (平行配線)



注意: 1 回路の最大接続台数は40 台です。

D. LED ON/OFF (警報表示)

○ディップスイッチ



○”D.L”端子

LEDの点灯をリモート操作する。(”D.L”端子)

★ディップスイッチをOFFにする

LED点灯 ”D.L”端子と電源の”-”側を短絡。

LED消灯 ”D.L”端子がオープン状態。

注意: LEDの表示はアラームメモリーの表示も兼ねています
 ので、その表示もされません。

赤LEDの表示

もし動作中に警報を検出した場合、シス
 テムは待機状態となり、そして赤LED
 は警報状態の表示になります。

最初の警報記録が有る場合

警報検出状態	LED点灯
最初の警報検出	点滅
2 回目の警報検出	再連続点灯
警報未検出	消灯

最初の警報記録が無い場合

警報検出状態	LED点灯
検出トリガ	点滅
警報未検出	消灯

○リセット (復旧)

アラームメモリーの復旧は自動的に行われ
 待機状態に戻ります。

機種	CX-50AM(マスキング対応)	
検知方法	パッシブインフラレッド	
検知エリア	ワイドレンジ 85 15m×15m	ナローレンジ 24m×1.8m
検知ビーム	108本	28本
取付高さ	1.5m~3.6m	
検知内容	温度差0.6℃で0.6m/secで発報	
検知出力遅延	0.3~1.5m/sec	
電源電圧	9~18V	
消費電流	30mA(通常)、42mA(最大)	
警報出力	NC/NO DC28V0.2Amax	
タンパ出力	カバー取り外し時発報	
検知パルスカウント	20±5secの間に1、2、3又は4カウント	
ウォームアップ	電源ONから約30秒(赤LED点滅)	
LED	赤: アラーム、アラームメモリー アンチマスキングメモリー 黄: 環境チェック(マスキング、その他) 白: アンチマスキング投降用	
重量	170g	
動作温度	-20℃~+50℃	
動作湿度	95%max	
電波ノイズ	通常時 30V/m(100~1,200MHz)	

機種	CX-50S(C接点出力仕様)
消費電流	18mA(通常)、25mA(最大)
警報出力	NC/NO DC28V0.2Amax
重量	170g

機種	CX-50V(アラームメモリー仕様)
消費電流	10mA(通常)、20mA(最大)
LED	赤: アラーム、アラームメモリー
重量	170g

機種	CX-50(ノーマル仕様)
消費電流	10mA(通常)、15mA(最大)
警報出力	NC DC28V0.2Amax
LED	赤: アラーム
重量	170g